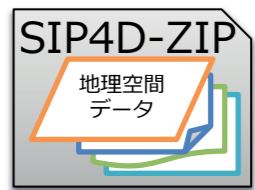


SIP4D-ZIPとは

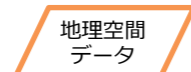
防災情報研究部門 磯野猛

SIP4D-ZIP：防災情報のための共通フレームワーク

- 防災情報共通フレームワークとは「防災情報を共有するために必要な構成要素（情報構造、データフォーマット、メタデータ、プレゼンテーション・スタイル）をすべて統一された様式により定義したものです」です。
- SIP4D-ZIP = 防災情報共有フレームワークを用いることで「災害対応で必ず共有が求められる情報の仕様」を共通化することができます。

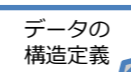


SIP4D-ZIPの基本形は、4種類のJSONファイルを圧縮ファイル（ZIP）でまとめたものです。



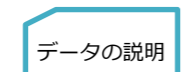
地理空間データファイル（GeoJSON）

- ・ポイント、ライン、ポリゴンを扱う
- ・属性の定義は任意
- ・制約事項あり



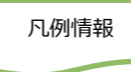
属性定義ファイル（JSON）

- ・データ仕様書に該当する
- ・コネクションID（データの意味付けID）を持つ
- ・データ型の定義（文字列、数値、日付、リスト）



メタデータファイル（JSON）

- ・タイトル、作者、ライセンスなど
- ・情報種別コード
- ・time track id (ttid)

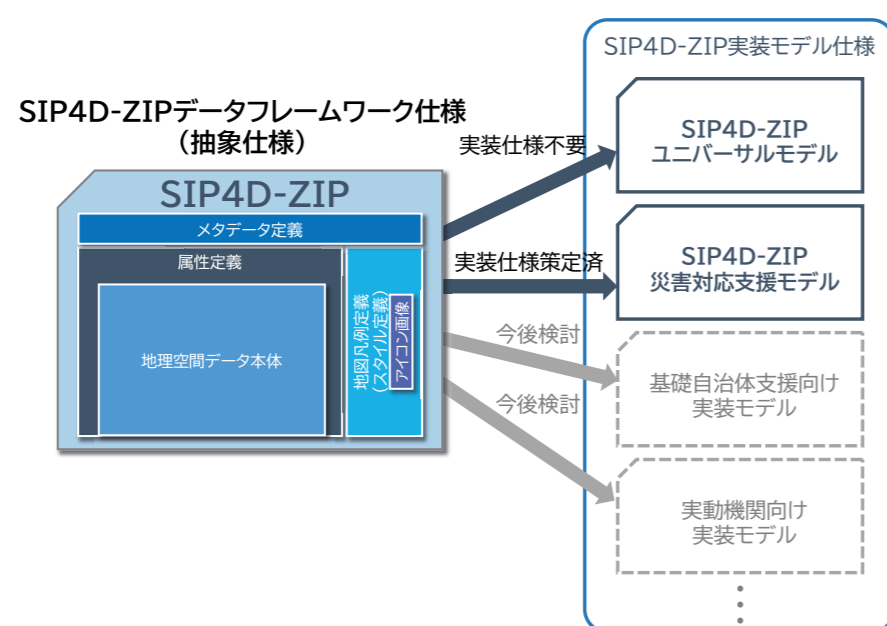


凡例ファイル（JSON）

- ・色データ
- ・属性値による描画切替
- ・シンボルの画像ファイル（png）

◆ユニバーサルモデルと災害対応支援モデル

データフレームワークとしてのSIP4D-ZIPは、具体のデータフォーマットを定義していない抽象仕様です。SIP4Dでは具体の実装フォーマットとして、ユニバーサルモデルと災害対応支援モデルを定義しています。



ユニバーサルモデル

災害時に発生する想定外のデータを共有するための実装モデルです。そのためユニバーサルモデルのデータは重要度の高いデータになる場合があります。

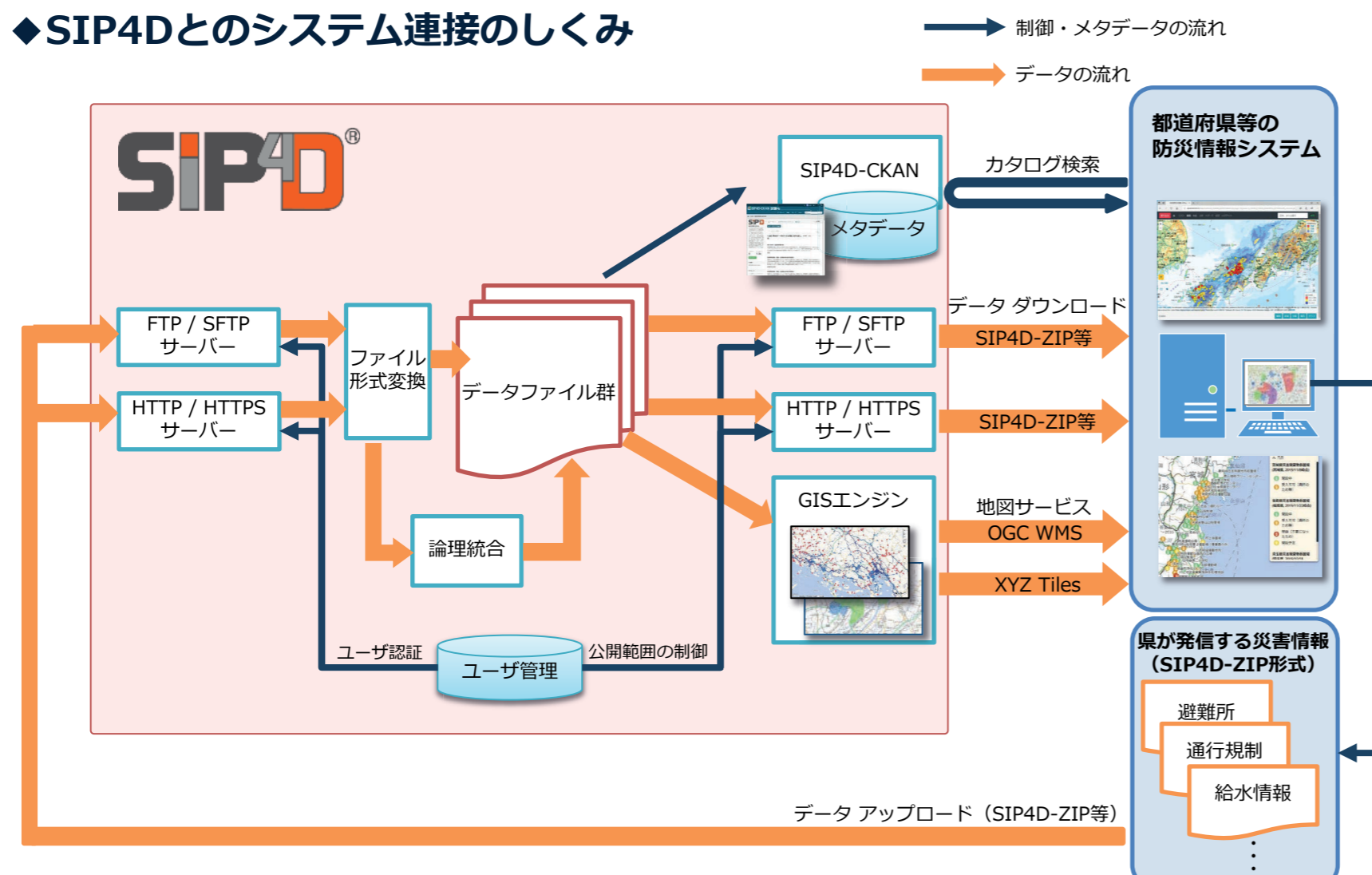
情報種別コード：99-999-99

災害対応支援モデル（旧称：定型）

政府・実動機関が被災自治体を支援するための災害対応活動をユースケースとして、そこで必要とされる災害情報を共有するための仕様をSIP4D-ZIPに基づいて定義した実装モデルです。

情報種別コード：01-001-01～01-012-01

◆SIP4Dとのシステム接続のしくみ



情報種別コード

項番	情報種別	地物の幾何形状型	情報種別コード
1	避難所	ポイント型	01-001-01
2	物資拠点	ポイント型	01-002-01
3	有床病院	ポイント型	01-003-01
4	災害廃棄物仮置き場	ポイント型	01-004-01
5	道路規制	ポイント型	01-005-01
6		ライン型	01-005-02
7	給水拠点	ポイント型	01-006-01
8	断水戸数	ポイント型	01-007-01
9	浸水域	ポリゴン型	01-008-03
10	河川決壊箇所	ポイント型	01-009-01
11		ライン型	01-009-02
12		ポリゴン型	01-009-03
13	土砂災害発生場所	ポイント型	01-010-01
14		ライン型	01-010-02
15		ポリゴン型	01-010-03
16	地域別被害数	ポイント型	01-011-01
17	地域別罹災証明発行件数	ポイント型	01-012-01
18	その他	不定	99-999-99

